

門真市砂子地区での地域PBL ー地域内外のつながりをつくるー

参加学生:

- ◆砂子秋祭り活動プロジェクト(留学生別科／地域協働特別演習)参加者
- ◆「上島頭地区もちつき大会」ボランティア活動参加者
- ◆経済学科 早川ゼミ
- 経済学科 地域創造演習Ⅲ・Ⅳ受講者

担当教員: ◆基幹教育機構 早川 公 准教授

■経済学科 小竹森 晃 講師

◆砂子秋祭り2023(留学生別科&地域協働特別演習)

日本のお祭り体験を兼ねた山車引きボランティア
(留学生別科)



「地域のお祭りを盛り上げる」をミッションにテント企画
(地域協働特別演習)



◆上島頭もちつき大会(ボランティア活動)

留学生がもちつきを初体験。
当日は汗ばむ陽気でした。



市長や自治会長と記念撮影。
3回目となり恒例感も出てきました。



◆団地のつながりづくりプロジェクト(早川ゼミ)

コミュニティ農場を整備し、交流の場所へ
(2021年からの継続プロジェクト)



活動について門真市民生委員の皆さんに講演もしました
(演題:若者と共に歩む地域みらいづくり)



◆門真団地もちつき大会2023(早川ゼミ)

ゼミ活動以外の時間もお世話になりました

4年生は2年間の活動に感謝しながら…



◆学生の感想 & 教員のコメント(早川)

- 私は留学生なので（プロジェクトを通じて）日本の文化をもっと理解できたと共に自分の勉強や人との関係もよくできた。祭りでお客様として参加したことがあったが、今回はスタッフとして参加したことで祭りで興味を持って遊ぶだけではなく、祭りの準備の楽しみと苦労も体験できて、自分の知識と実行能力が高められた。（砂子秋祭り受講者）
- プロジェクトだけでなく、団地の方と普段でも料理をお裾分けしてもらったり、人間としての関係がつくれたことが印象に残っている。（早川ゼミ生）
- 自治会長や住民の方々との交流を通じて不慣れなコミュニケーションに前向きに取り組めるようになった。感謝しきれない。（早川ゼミ生）

【教員コメント】 教室の学びでは気づけないことや、友人どうしとのコミュニケーションでは得難い学びを、門真団地や砂子地区の皆さんとの交流を通じて発見し、考えながら動く機会をいただきました。もちろん、教員自身も、です。コロナ禍を挟みながらの5年間、お世話になりました。

■門真団地への訪問(地域創造演習Ⅲ・Ⅳ)

現場に足を運び、学生の五感や住民の方のお話を聴いて、活きた情報を得ることからはじめています。



■課題解決の実践①(地域創造演習Ⅲ・Ⅳ)

防災意識啓発のための「防災食の配布」



門真団地みらいづくり研究所での「お話し会」



■課題解決の実践②(地域創造演習Ⅲ・Ⅳ)

団地の女性たちとの「クリスマスリースづくり」



集会所での「映画観賞会」



■課題解決の実践③(地域創造演習Ⅲ・Ⅳ)

団地在住の大工さんとの「机づくり」



授業の最後に自治会長さんと「記念撮影」



■学生感想 & 教員のコメント(小竹森)

- どのような企画であろうが、実際に学生が門真団地でなにかをしていることが、門真団地内の振興にも繋がっていくと感じたため、継続していくことが大事だということを知った。(地域創造演習Ⅲ・Ⅳ受講学生)
- 学生が主体的・積極的に門真団地を様々な視点から分析し活動することによって、地域にいい影響を与えることが出来たのではないかと感じた。(地域創造演習Ⅲ・Ⅳ受講学生)
- 企画の実践を通じて、多様なアクターと協働することの重要性を知った。(地域創造演習Ⅲ・Ⅳ受講学生)

【教員コメント】 門真団地でのPBL(課題解決型学習)を通じて、地域で抱えている課題や住民同士のコミュニティなどキャンパス内では得られないこと、すなわち、活きた気づきを得られたました。また、お金だけでは解決できないことが地域(ローカル)にあり、それらをコミュニティの力を通じてアプローチしていることを再認識しました。ありがとうございました。